

あそしえ 通信

VOL.30

平成 31 年 4 月 1 日発行

社会福祉法人あそしえ 法人本部 浜松市南区金折町 804-1
TEL 053-545-9754 FAX 053-545-9764

相談支援室ゆい（相談支援事業所） 浜松市南区金折町 804-1
TEL 053-545-9764 FAX 053-545-9764

るいぶん（生活介護事業所） 浜松市南区金折町 807-1
TEL 053-427-1190 FAX 053-427-1200

あそり（就労継続支援 B 型事業所） 浜松市南区金折町 957-2
TEL 053-544-5488 FAX 053-544-5488

フューワン（共同生活援助事業所） 浜松市南区金折町 804-1
TEL 053-545-3741 FAX 053-545-3715

もも（短期入所事業所） 浜松市南区金折町 804-1
TEL 053-545-3741 FAX 053-545-3715

ゆりかぜ（児童発達支援事業所） 浜松市中区蛸塚二丁目 6-13
TEL 053-489-3200 FAX 053-489-3216

平成 30 年度 3 大ニュース

「平成」も残すところあと 1 か月となりました。本号が皆さんのお手元に届く頃には、新しい元号が発表されていることでしょうか。昨年度は、記録的猛暑や台風、地震、豪雨など自然の脅威を感じる年でした。各事業所の「平成 30 年度の 3 大ニュース」を紹介し、平成最後の一年を振り返ります。

あぐり

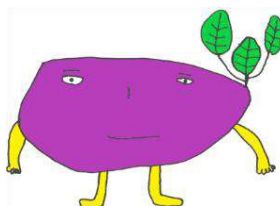
工賃 2 万円を目指して

目標工賃達成に向けて、電動ドリルやニッパーなどの道具や治具を使う作業、施設外就労などに取り組みました。今後も、色々な作業に挑戦していきたいと思っておりますので、ぜひご紹介ください！！



看板メニュー「干し芋」

あぐりで採れたさつま芋を使って、干し芋を作りました。ジッパー付きのパッケージに変更し、利用者さんが描いたカワイイさつま芋のキャラクターも誕生しました。より一層、品質改良に力を入れていきたいと思っております。



杏林堂での店頭販売

ミシンで縫製作業に挑戦し、アームカバー、シュシュ、ヘアゴムなどの自主製品を作り、杏林堂和田店さんのご協力を得て、10月から1月に月1回、店頭販売させていただきました。参加した利用者さんは、接客の体験になりました。出店状況はブログにて確認できますので、皆さんぜひお立ち寄りください。

あそしえいろいろ



えくらん

新利用者さん歓迎

9月に歌やダンスを披露して新利用者歓迎会を開催しました。車椅子に乗っている新利用者さんに対して、ドアを開けたり、物を持ってきたりと、新利用者さんへの気遣いが多く見られるようになりました。

日帰り旅行

初めて大型バスを貸し切り、利用者さんと職員全員で名古屋にあるリニア・鉄道館に行きました。バス内では話し声や笑顔があり、館内では展示物に見入る姿がありました。全員での日帰り旅行は、心の奥にしっかりと刻まれるような体験となりました。

台風被害

台風 24 号が浜松市全域に猛威を振るい、えくらんでも停電対応に迫られました。防災倉庫の横転、屋根の一部が剥がれる被害がありました。今回の台風を教訓に、職員間で台風時の行動を確認しました。



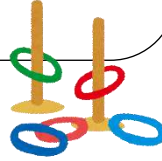
フォーワン

新入居者さんの仲間入り

7月から、利用者さんが1名増え、全員で6名となりました。毎日「これからもよろしくね」と挨拶を交わす様子は微笑ましいです。楽しい会話も増え、賑やかになりました。みなさん、大きな病気をすることもなく健康で元気に生活しています。

輪投げ大会に参加

地域で行われた輪投げ大会に参加しました。最初は難しかったですが、段々とコツを掴んできて、狙って投げることができました。残念ながら入賞とはなりませんでしたが、地域の方々と交流を深め、楽しい時間を過ごすことができました。



イチゴ狩りとロープウェー

年に1度の1日外出。日本平までイチゴ狩りへ出掛けました。ハウス中のイチゴを食べ尽くす勢いで、大きな石垣イチゴをお腹一杯食べ、大満足でした。楽しみにしていたロープウェーにも乗り、駿河湾の壮大な景色を眺めてきました。



ゆりかご

行事はいつも雨

9月に家族行事でフルーツパークに遠足に行きました。当日はあいにくの天気。向かっている時に強い雨が降ってきて心配になりましたが、到着してからは小降りになったり、止んだり。梨狩りやプール遊びを楽しみました。親子で楽しむだけでなく、保護者同士での交流の場となりました。家族行事は、流しそうめん会、遠足、運動会、クリスマス会とありましたが、流しそうめん会以外はすべて雨でした。



初めての試み

土曜親子教室で初めての試みとして、卒園児の保護者3名に来ていただきました。就学前に準備していたことを話していただいたり、在園児の保護者の質問に丁寧に答えていただいたりしました。終了後のアンケートには「貴重な話を聞けて良かった。」「またこのような機会を設けてほしい。」という意見をいただきました。土曜親子教室は、保護者同士の情報交換や交流の場となっています。

おまめ戦隊ビビンビーン

12月に家族行事でクリスマス会を行いました。当日は14家族にご参加いただきました。園児の発表やサンタさんからのプレゼントがあり、ご家族で楽しんで頂けたと思います。職員の出し物は「おまめ戦隊ビビンビーン」に変身。踊りを覚えるのも衣装を作るのも大変でしたが、当日は子どもたちも途中から一緒に踊ってくれました。今でも口ずさんでいる姿が見られます♪



2019年7月27日(土)16時~18時 場所:えくらん(南区金折町807-1)

ボランティアさん募集します

- ・会場の準備 《テントの設営や会場の飾り付け》
- ・模擬店準備 《商品やゲーム準備、POP貼り》
- ・模擬店 《商品の販売やゲームの受付》
- ・駐車場誘導 《お客様の誘導》

バザー用品・抽選等景品 募集のお願い

- ・生活用品 《洗剤、タオル、雑貨、文具、玩具など》
- ・食品 《食油、調味料、缶詰、酒類、乾燥麺、野菜など》

☆私たちと一緒にイベントを盛り上げてみませんか?
お問合せ TEL 053-427-1190

☆賞味期限半年未満、使用後のものはご遠慮ください。
☆事業所へお届け頂くか、法人職員や関係者にお渡し
くだされば助かります。

特集

様々な分野で活躍中の専門家の執筆による、ホットな情報や時代を先取りした話題をお届けします。

～プロフェッショナルから学ぶ～

基幹相談支援センターの機能と役割について

—住みたい街で住みたい人と安心して暮らせる地域を目指して—

浜松市障がい者基幹相談支援センター
所長 雨宮 寛 氏

Profile

大学卒業後、昭和 62 年社会福祉法人小羊学園入職。小羊学園青年寮に配属。平成 12 年に若樹学園、平成 16 年に地域療育支援センターアグネスに異動。平成 19 年に在宅支援センターぱびるすの開設に携わる。平成 28 年からアグネスみなみ、マルカート、ドルチェの管理者を経て、平成 30 年から現職。

浜松市障がい者基幹相談支援センターが平成 30 年 4 月に開所し 1 年が経過しました。中区鴨江の浜松市役所鴨江分庁舎 1 階に事務所を設けています。天竜厚生会、聖隷福祉事業団、好生会、至空会、小羊学園の 5 法人が共同運営企業体として浜松市より事業委託を受け運営を行っています。各法人から経験のある相談員が 1 名ずつ派遣され 5 名の相談員で支援を行っています。

現在の総合支援法につながる契約制度の導入や浜松市においては政令市への移行など、障がい児者に関わる制度も地域の支援体制もこの 15 年ほどで大きく変わりました。障がいのある方が、権利の主体者としてサービスや支援を利用しながら地域で生活することが当たり前となり、その支援のコーディネートやマネジメントをお手伝いする相談支援の役割が重視されるようになりました。浜松市には現在、この役割を担う相談支援事業所が 39 か所あります。福祉サービスを提供する事業所も格段に増え、障がい児者支援は充足されてきました。その一方で、少子高齢化や子どもの貧困などの社会的問題に障がいの重度化や家族の高齢化など多様な課題が絡みあった、より対応の難しい相談が増えています。その状況の中で、より高度な相談支援を行うことのできる相談員や支援体制が必要とされるようになりました。その相談員の養成や支援体制の強化を担うことが基幹相談支援センターの役割です。浜松市障がい者基幹相談支援センターには、いわゆる「親亡き後」を見据え、障がいのある方が住み慣れた地域で安心して生活ができる、緊急時の支援を含めた地域の支援体制作りを行う地域生活支援拠点事業という役割も付加されています。これらの経緯から浜松市障がい者基幹相談支援センターは設置されました。

基幹相談支援センターの事業内容には次のようなものがあります。一部を紹介します。

(1)基幹相談支援センター事業

- ①地域の相談支援機関への専門的な助言（身体、知的、精神及び発達に障がいのある児者に対応）。
- ②障害者相談支援事業者の人材育成、相談機関との連携強化、権利擁護・虐待防止の取り組みなど。

(2)地域生活支援拠点事業

- ①将来を見据えた地域生活（ひとり暮らし、グループホームなど）への体験や移行支援。
- ②緊急時における短期入所などへの迅速な受け入れ（24 時間 365 日体制の緊急支援機能）。
- ③地域での生活を支援する様々な社会資源による連携体制の構築、専門的人材の育成など。

<緊急時対応事業について>

地域で生活をする障がいのある方がその維持が困難となる緊急事由が発生した際に、短期入所事業を利用することで安心して地域生活を継続できるようにするものです。相談支援事業所と緊急時を想定し登録書（連絡先、支援方法、短期入所先）を作成して頂き、関係機関で共有し緊急時に対応が行えるようにします。場合によっては受け入れ先への移送も行います。平成 30 年 11 月末現在、実利用人数 16 人（内 7 名が短期入所を利用）、延べ 51 件（内 16 件が時間外）の対応を行いました。利用登録については、ご利用中の相談支援事業所にご相談ください。

ほかに相談員や支援関係者、保護者向けに研修会なども行っています。出前講座もあります。障がい児者やその支援について「知りたい」がありましたらお気軽にご連絡下さい。わずか一年ですが、多くの支援依頼や課題が寄せられ、認知され始めていることを実感しています。基幹相談支援センターは、地域の皆様をはじめ多くの障がい児者支援を行う様々な団体との話し合いの中で一緒に作り上げていくものだと考えています。「住みたい街で住みたい人と安心して暮らせる地域の支援体制」を作る一助になれるよう今後も精進して参ります。

浜松市障がい者基幹相談支援センター

住 浜松市中区鴨江 3 丁目 1-10 鴨江分庁舎 1 階 **☎** 053-401-0920

えくらん管理者就任にあたって

えくらん 山本 修二

平成 31 年度よりえくらんの管理者に就任しました山本です。

ここ数年、社会福祉法人改革に揺れていましたが、今後も生産年齢人口の減少等による人材不足や社会保障費の抑制などにより厳しい時代を迎えるものと思います。そのような中、えくらんの管理者を拝命し、非常に重責を感じています。

えくらんは平成 30 年度に増築工事を行い、既存の建物の東側に多目的棟が完成しました。それにより定員を 27 名から 32 名に増員しました。増員分は特別支援学校の卒業生、就労継続支援 B 型事業所等を利用されているご利用者で高齢化等により通所先の変更が必要になった方などを対象とします。現在のご利用者が混乱しないよう順次の受け入れを行います。

建物が既存棟と増築棟の二つに分かれます。支援においては、作業支援に重点を置き、就労継続支援 B 型事業所等に移行を目指すグループ、現状のように作業支援と日常生活の支援等を行うグループに分けることで、より充実した支援を目指します。えくらん全体としては、創作的活動や生産活動の機会を提供し、生活能力の向上、自立の促進、身体機能の維持向上を目的とし、より一層サービスの向上を目指します。今後にご利用者やご家族に喜ばれる事業所を目指して職員共々努力して参りますので、ご指導ご協力をお願いいたします。



あそしえ後援会ご入会・ご継続のお願い

みなさまのご善意により後援会を運営しております。スポーツデイやクリスマス会などの行事にボランティアとして参加、成人を祝う会やゆりかご卒園式には記念品の贈呈などを行っています。

あそしえ後援会

「あそしえ」への財政的協力・支援活動
「あそしえ」の広報活動
会員相互の交流 その他活動

ご支援ご協力お願いいたします

年会費 個人会員 一口 1,000 円
法人会員 一口 10,000 円
郵便振替 00890-0-100480「あそしえ後援会」

ご加入・ご継続者 (9月～平成31年2月・順不同、敬称略。匿名を希望される方はお申し出下さい。)

加藤健司 袴田雅俊 影山香織 (株)ハクト 深田吉治 鈴木総一郎 (株)中村組 西川公一郎
雷電(株) 嶋田初江 中島千春 鈴木重治 阿部昌弘 新井康久 伊藤千明 岩澤秀治 間淵敏明
佐々木成明 鈴木俊昭 山内慶太 美和勇一郎 中村真由美

前号(平成30年3月～8月分)にて記載漏れがありました。大変失礼いたしました。お詫び申し上げますとともに、下記の通り追加記載させていただきます。

阿部秀雄 安間みち子 飯田明男 加茂福史 久米康弘 三ツ井康雄 小桐正彦 高部千奈美
鈴木利幸 宇都晴美 新井淑恵 安間俊夫 山本妙子 (有)大貫 (有)ティ・エム・プランニング

ご協力ありがとうございました

(9月～平成31年2月・順不同、敬称略。匿名を希望される方はお申し出下さい。)

ご 寄 附 水曜会 マックスバリュ東海(株) 望月隆明
あそしえ後援会

ボランティア 山本長行 望月隆明 山口勝義 加藤健司
大場雅子 犬居和賀代

ア ル ミ 缶 赤池貞子 伊藤忠 池田理容店 齋藤晃江 (株)飯田組
河合秀敏 袴田智恵美 西伊場凧揚げ会 鴨江八日会
小池富子 宮本恵子

ご利用者家族からのご寄附・ご協力は割愛させていただいております。
地域の皆さまにもご協力いただいております。いつもありがとうございます。

お知らせ

— 移 転 —

【法人本部】
浜松市南区金折町 804-1

— 管理者就任 —

【えくらん】山本修二
【相談支援室い】廣野勇樹